カレッジ研修の実施状況

●カレッジ入講式，記念講演講師と研修生の意見交換（５月）

カレッジの理念・方向性の普及・浸透、研修生の職務や研修への意欲醸成、交流を目的に開催

速水講師と研修生の意見交換

令和４年度　研修生51名（29事業体）、所属先20事業体・16名参加
記念講演　速水　亨氏（三重）「豊かな森林経営を未来に引き継ぐ～面白さを実感できる豊かな森林経営へ」

川井講師と研修生の意見交換

令和５年度　研修生66名（31事業体）、所属先21事業体・24名参加
記念講演　川井秀一京都大学名誉教授
「わが国の森林・林業と木材の未来を考える」

B テクノワーカー(林業技能者)コース～３クラス12講座

技能者養成クラス（４講座）

●B2 スタートアップ研修（４月,４日間）～基礎教育を受けていない新規就業者の資格取得を支援

当センター：基礎研修（理念・現状、森林施業、木材、現場で直ぐ役立つ情報（スマホでの位置・境界確認））

林業・木材製造業労働災害防止協会宮城県支部：刈払機・チェーンソーの安全教育

●B4 高性能林業機械作業技術者養成研修(６日間)～会員事業体の協力の下に資格取得を支援

センター：**基礎研修**（現状・課題、作業システム、レンタルの得失）→**現地研修**（事業体理念、作業システム）

林業・木材製造業労働災害防止協会宮城県支部：**走行式集材機械、伐木等機械の特別教育**

走行式集材機：会場・機械はセンター、講師は機構会員事業体から派遣

伐木等機械：県南部・北部ごとに会員から現場・機械・講師に協力をいただく

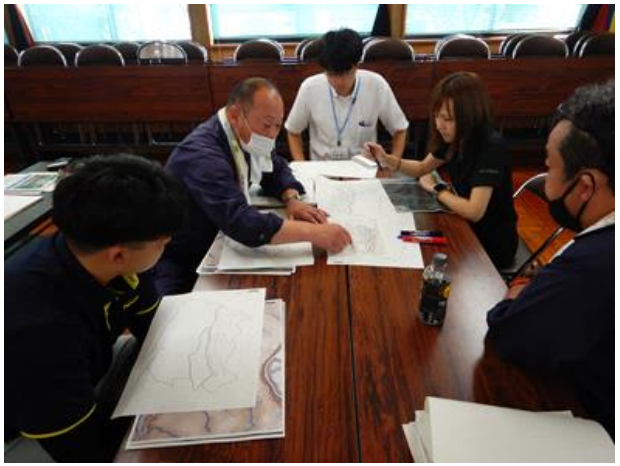
リーダー養成クラス（４講座）

指導者クラス（４講座）

宮城県林業労働力確保支援センター、流域森林・林業活性化センター実施

●B11 森林作業道作設オペレーター指導者研修（３日間）～デジタルを活用できる指導者育成

岩手大学齋藤仁志准教授講義(初日)



→　CS立体図を基に路線計画

→計画図、GNSSで踏査（翌日）

→GNSS軌跡を基に踏査結果検討

同左→　路線計画決定

→開設後の現地検討（数ヶ月後）

C　森林管理・事業経営コース～３クラス13講座

入門クラス（６講座）　事業管理者クラス（６講座）　経営者クラス（３講座）

●C2 森林経営管理技術者養成研修(２年制各50日間)　～中核となる若手森林・林業技術者を

１年目

森林調査・間伐設計・評価実習 →

123年生スギ林視察・調査 →

調査林分の主伐評価・再造林設計

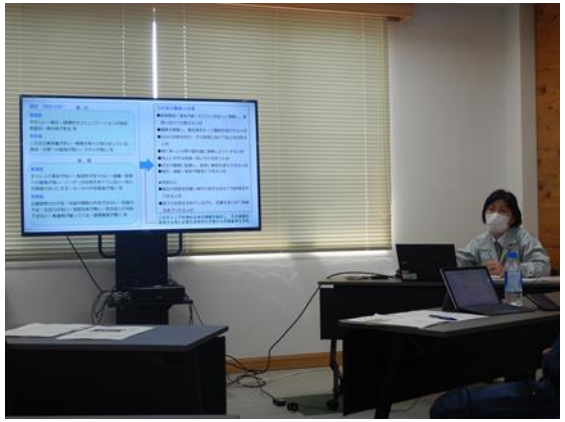
２年目

森林施業プランナーの実務研修

トップランナーを招聘　和歌山・(株)中川、三重・海山林友(株)

研修生による課題検討・発表を重視

●C3 事業管理者基礎研修（２日間）～新たに総務、事業管理を担当する人材を支援



事業体総務課長による実務研修

工程・原価管理

研修生が抱える課題の検討

●C４【スマート林業】森林調査　～ドローン、GNSS、地上レーザーの研修を初級、実践(C9)、事業活用(C10) の３段階に分けて実施（各２～3日間）

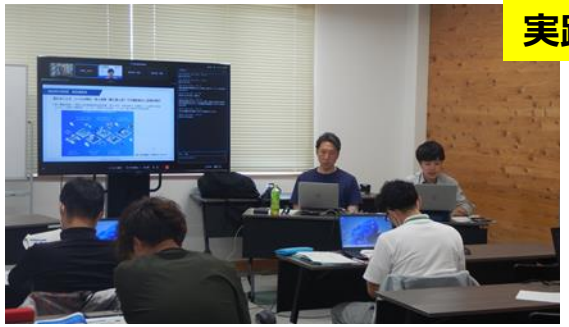
ドローン

初級

機体、法規制、注意事項　→

操縦体験

実践



クラウド型測量サービス　→

実習　→

測量成果確認

●C4【スマート林業】森林調査

GNSS

初級

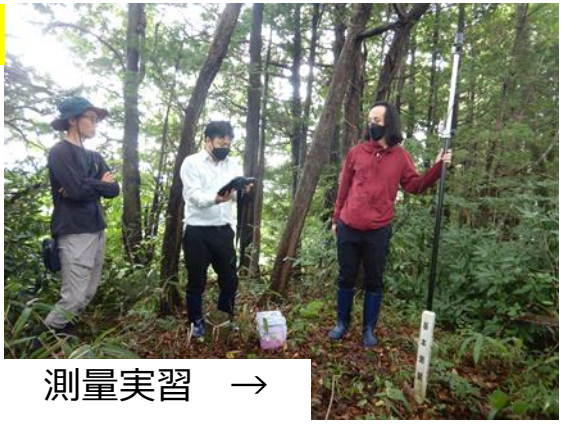
GNSSの仕組・概要、実証状況→

測量実習　→

測量成果作成、確認

実践

測量機器、データ集計　→

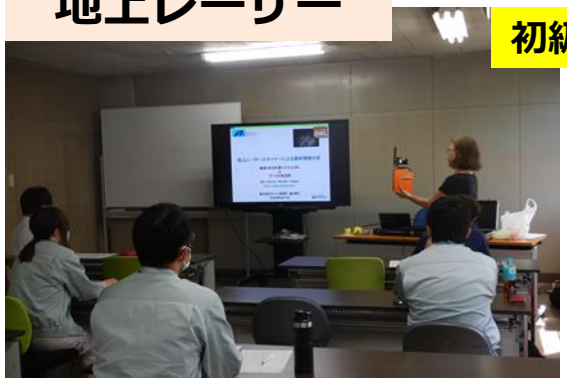


測量実習　→

測量成果作成、確認

地上レーザー

初級



機器の概要、操作方法→

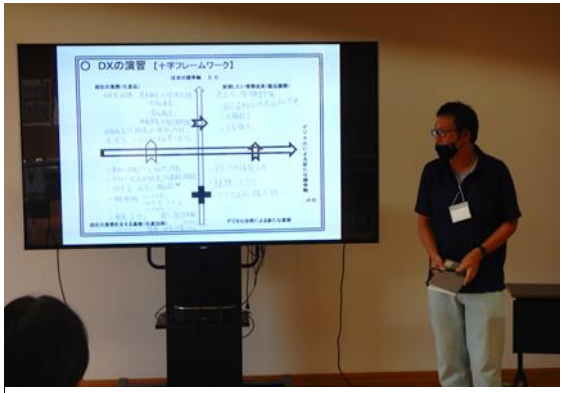
森林調査実習　→

調査成果作成、確認

●C5【スマート林業】林業DX推進講座　～丸太から製材までのデジタル情報の共有化

体験講座

①DX推進のための基礎知識→



各事業体における課題検討

②林業・木材産業のDX　課題

→原木市場のDX　グループ討議

③製材・プレカット工場調査

→デジタル技術によるトレーサビリティシステム操作体験、課題検討

D　森林ビジネスコース～２講座

●D１ 広葉樹ビジネス講座（２年制各10日間＋修了生対象の実践講座）～施業・加工・販売のプランづくり

１年目

清和健二東北大学名誉教授講義・視察

広葉樹材利用　→

広葉樹製材視察

広葉林調査

スツール制作実習

２年目

課題検討グループワーク

こけし工人視察・制作体験

合同・県外視察研修

●Ｄ２ 育林ビジネス講座（10日間）～育林専門の起業、育林部門の事業拡大の担い手育成

現状・課題、森林施業技術

測量、森林調査実習

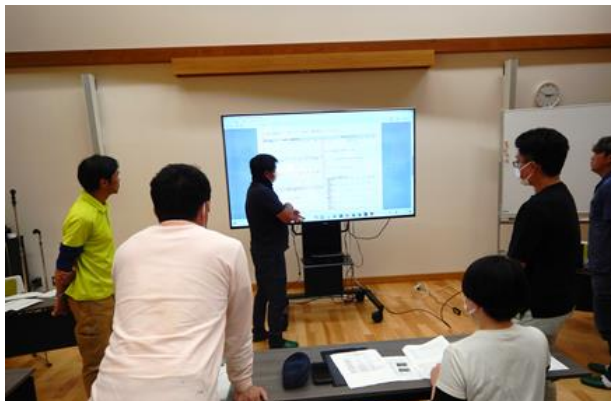
森林経営計画実習

企業の造林視察、講話

森林組合の造林、講話

森林整備関係補助、融資

コンテナ苗植栽実習


先輩(起業者)によるプラン講義

ビジネスプランの検討、発表

E　オープンカレッジ　～機構・カレッジPR、人材交流、森林・林業の理解醸成

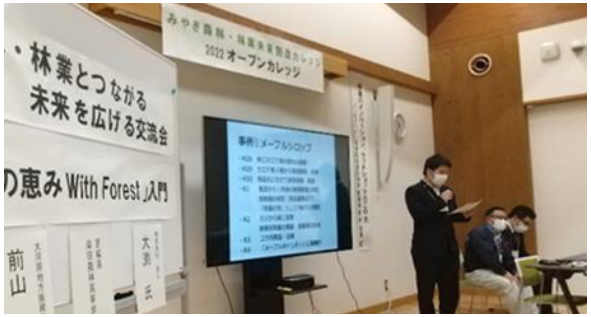
●プロジェクトシンポジウム・新技術情報交換

機構のプロジェクトやカレッジの情報提供、現場の課題をテーマに森林・林業関係者が交流、意見交換。**本年度は10月４日(水)開催、テーマは「林業のイノベーションと作業改善」74名参加**

「ICT利用と新しい林業」
岩手大学齋藤仁志准教授講演

「リモコン・車高調整式下刈機」デモ（筑波重工）

「新技術情報交換」プレゼン、参加者意見交換



昨年は３分科会で課題検討ワークショップ、高校生の発表、チェーンソー指導者公開実技等を実施

●企画提案型オープンカレッジ

～研修生の意見により本年度から実施。研修生の成果発表、ビジネスプラン実践、PR強化

R5.5.27(土)・28(日)全国都市緑化フェア仙台
広葉樹講座修了生が木育ワークショップ（延べ320人体験）

R5.6.25(日)SDGｓマルシェ(仙台市)
広葉樹受講生がアロマウォーター実演・体験（160人）

R5.10.14(土)センター一般公開　（来場約100人）
育林と経営管理の受講生がワークショップ、ポスターセッション

研修生と高校生の交流会